ＩＯＭ ＮＣＡ ＪＰＮ 第１２回競技会参戦記

ＩＯＭ ＮＣＡ ＪＰＮ第１２回競技会が 2021年 11 月 20、21日（土、日）静岡県磐田市竜洋Ｂ＆Ｇ海洋センターしおさい湖の水面で開催された。

昨年からのコロナの影響もあり9-11回の競技会が中止となり今年最初で最後の競技会となった。１年ぶりの開催となり参加艇は１１艇と少し寂しいエントリー（関東６艇、静岡１艇、中部２艇、関西１艇、四国１艇）での開催で、運営は日本セーリング連盟 JSAF の資格所有者である落合氏，中島氏の協力を得ての競技会である。

私としては、今回のＮＣＡ競技会は 昨年の競技会同様Kantun2での参戦となる。本競技会に向けて今年の春先から同じ艇を手に入れた№４９の八木氏（本大会３位）と竜洋で練習を重ね本番を迎えた。

初日は、計測証明書の提示、PSN 番号の提示、および重量計測ののち室川ＮＣＡ会長挨拶があり、帆走指示書の説明、集合写真を撮影し、レース開始となった。天気予報では１～２ｍ/ｓの微風コンディションで当然ながら全艇Ａリグでのスタートとなった。朝一から風速、風向が安定せず風の振れに合わせてマークを打ち直すという待ち時間の多いレースとなった。第一レースは風向に翻弄されスタート直後のコース取りを失敗したが、後半何とか盛り返し３着。２レース以降は地元の利点を最大限に活用し風を読み切り１着を重ねた。初日は、７レースにとどまり内５レースが１着、２着１回、３着１回の計１０ポイントで終えた。

翌日も風向風速が定まらず風の読みで順位が変わるというレース展開となった。２日目の第１レースで大ごみを回収してしまい１１着。いきなりのゴミ拾いでテンションが下がったが何とか気を取り直してレースを続けた。１レース目が１１着（ゴミ拾い）、１着、１０着（ゴミ拾い）、１着と出入りの激しいレースでゴミがトラウマになりそうだった。

初日の貯金が効いて、最終レースを１着で終え最終成績をＴＯＰで全レースを終えた。2021年 NCA IOM JPN メインレースである第１２回競技会を制し、昨年の第８回競技会に続いて優勝しＶ２を達成した。

昨年は、「速い艇、強風下での練習、風の読み、少しの運」プラス「竜洋の風」が味方してくれて優勝出来た、と書いたが、プラス良きライバル（練習相手）が居ての優勝だと感じた。

ＪＰＮ３２７　山脇　修